

新園舎コンセプト

1. 建設のコンセプト

「木のぬくもりを感じる自然あふれる友愛幼稚園」

建物の内外において、森の中にいるような居心地を感じられる園舎、園庭を目指したい。

園舎の中は、木々や動植物をベースにしたデザインを取り入れ、木造としての梁、柱等も内観できるように設計を工夫する。園庭には、既製品の遊具だけではなく、立ち木などを利用した木製の遊具なども可能な限り設置する。

また、普段子どもたちの生活の中心となるのは保育室であり、大きな声を出したり走ったり、リラックスできる場所であるが、それとは別にランチルーム（仮称）を設置する。

ランチルーム（仮称）は、マナーを守って食事を楽しむ場所として、保育室とは異なる空間として生活のメリハリをつけた教育の場となる。食事を介して異年齢や他のクラスと交わることで、社会性も育まれる。また、ランチルーム（仮称）には、保護者を招待する食事会や講習会を開催し、保護者への食育の場としても利用する。

さらに、ランチルーム（仮称）は、作品を飾るギャラリーや絵本などを置く場所として活用したり、預り保育や多目的利用としての有効な活用も計画する。

2. 教育のコンセプト

「よくあそび よく食べ とともに育つ 友愛幼稚園」

よくあそび 子どもにとってあそびは生活のすべて。自然豊かな環境の中で（環境）あそぶ子どもたちは 思う存分体を動かし（健康）友だちと関わる中で、楽しさ優しさ大切さを覚え（人間関係・言葉）感じたこと考えたことを自由に表現し豊かな感性を養う（表現）。あそびを通して人間として、社会とかかわるための基礎を培う。

よく食べ 食べることは、人が生きていくために必要なこと。よくあそび、空腹を感じるからこそ美味しく食べることができて満足感を心と体で味わえる。また、畑の栽培活動を通して、食べ物大切さを知り、旬のものを食べ季節を感じて心も体も健康で豊かに育つ。

とともに育つ 「みんなちがって、みんないい」。お互いを認め合い、多様性を受け入れ尊重し合う気持ちを大切にする。幼稚園は、子どものみならず、先生、保護者がともに育つ場である。併設の大学と連携しながら子どもの発育、発達、療育に関わる専門的な知識を取り入れ、多面的に子どもを育む取り組みを進める。